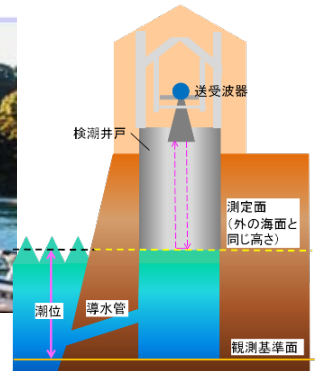


【潮位計】

港^{みなと}などにあり、ふだんは海水面^{しお}の動き（潮^{しほ}の満ち引き）をはかり、記録^{きろく}していますが、津波がおきた時には津波の高さをはかります。

全国で約180ヶ所、東北地方で約20ヶ所の潮位計^{ちよういけい}があります。

くわしくは、「海面の高さをはかる」に説明^{せつめい}があります。



【津波観測計】

港^{みなと}などにあり、津波の高さをはかるものです。

電波^{でんぱ}を使って海面の高さをはかる「津波観測計（図中○）」と海水の圧力の大きさから海面の高さをはかる「巨大津波観測計（図中○）」があります。

潮位計^{ちよういけい}や津波観測計^{つなみかんそくけい}の高さをこえるような大きい津波は、巨大津波観測計^{きょだいつなみかんそくけい}で高さをはかります。



【GPS波浪計】

海岸から約20kmほどはなれた海上で、GPS衛星^{ジーピーエスえいせい}を利用し、ふだんは波の高さをはかっていますが、津波がおきた時は津波の高さをはかります。

国土交通省^{こくどうこうつうしょうこうわんきょく} 港湾局が、全国で15ヶ所、東北地方の沿岸^{えんがん}では10ヶ所設置^{せいち}しています。



設置：国土交通省

【^{しき}ブイ式^{いつなみけい}海底津波計】

^{とうほくちほうたいへいようがん}東北^{やく}地方^{おきあ}太平洋岸から約320~400kmの沖合い
 において、
^{かいてい}海底^{せっち}に設置した^{すいあつけい}水圧計^{すいあつ}が水圧の変化をとらえることで
 津波の高さをはかります。

津波のデータは、^{すいあつけい}水圧計から海上のブイへ^{おんきょう}音響により送信され、
 データを受けとったブイから人工衛星を利用してあっという間に気象庁へ送られます。



【^{つなみかんそくしせつ}津波観測施設^{せっちばしよ}の設置場所】

<観測機器>

- 津波観測計
- ▲ GPS波浪計
- ▼ ケーブル式海底津波計
- + ブイ式海底津波計

<所属機関>

- 気象庁
- 国土交通省港湾局
- 国土地理院
- 海上保安庁
- 海洋研究開発機構
- 防災科学技術研究所
- 東京大学地震研究所
- その他の機関

